

(別紙5)

## 【補助事業概要の広報資料】

補助事業番号 25-1-035

補助事業名 平成25年度 親と子のふれあい交流活動 補助事業

補助事業者名 公益社団法人国際演劇協会日本センター

### 1 補助事業の概要

#### (1) 事業の目的

朗読劇「この子たちの夏」は、昭和20年の広島・長崎での原爆体験を語った母たちの手記をまとめた舞台作品です。当事者たちの生の証言をもとに構成された本作品は見る人の心に平和の貴重さ、生きることの素晴らしさを直に訴えかけ、観客に強い印象を与えつづけて来ました。毎年8月に繰り返し上演を行なうことで、祖父母から孫世代まで3世代にわたる記憶の継承の場、戦争の体験を語り継ぐための貴重な機会を提供します。

#### (2) 実施内容

【期間】2013年8月12日(月)14時・13日(火)13時、17時(全3公演) 【会場】世田谷パブリックシアター 【構成・演出】木村光一 【出演】かとうかず子、島田歌穂(13日)、高橋紀恵(12日)、床嶋佳子、西山水木、根岸季衣、原日出子／都立駒場高校、都立総合芸術高校の生徒／朗読：高安智美／声：北村和夫 【主催】(公社)国際演劇協会日本センター 【提携】(公財)せたがや文化財団 世田谷パブリックシアター 【後援】世田谷区 【企画制作】地人会新社 【協賛】日本たばこ産業株式会社



開場後の劇場入口



出演者によるポストトーク



舞台風景 (女優による朗読の場面)



舞台風景 (高校生による朗読の場面)

●朗読劇『この子たちの夏 1945・ヒロシマ ナガサキ』ホームページ

(別紙5)

## 2 予想される事業実施効果

観客からのアンケートでは、6歳から84歳までの多様な受益者から94%の満足度を得ることができた。「私も伝えていきます」「改めて父や母に話を聞きたい」「私も、娘にも、孫にも、同じ思いはさせたくない」といった言葉が数多く寄せられたことから、観客のみならず周囲の人間にも本作品上演の狙いや効果が波及しており、受益者を拡大することができたと考えられる。

## 3 本事業に係る成果物

### (1) 補助事業により作成したもの



チラシ (表)



チラシ (裏)

※その他：ポスター、パンフレット、DVD（日・英）

### (2) (1) 以外で当事業において作成したもの

ITIニュース124号（2014年1月発行予定）に掲載

## 4 事業内容についての問い合わせ先

団 体 名： 公益社団法人国際演劇協会日本センター

(コウエキシヤダンホウジンコクサイエンゲキキョウカイニホンセンター)

住 所： 〒151-0051

東京都渋谷区千駄ヶ谷 4-18-1 国立能楽堂内

代 表 者： 会長 永井 多恵子 (ナガイ タエコ)

担 当 部 署： 事務局 (ジムキョク)

担 当 者 名： 事務局長 曾田 修司 (ソタ シュウジ)

電 話 番 号： 03-3478-2189

F A X： 03-3478-7218

E - m a i l： [iti@topaz.dti.ne.jp](mailto:iti@topaz.dti.ne.jp)

U R L： <http://iti-japan.or.jp/>